

# 残留農薬検査(平成27年度 その2)

当所では、横浜市内に流通する農産物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。平成25年度に検査項目の見直しを行い、農産物ごとに検査項目を設定しました。

今回は、平成27年8月及び9月に食品専門監視班及び各区福祉保健センターより搬入された農産物等の検査結果を報告します。

## 1 市内産農産物

8月に搬入されたこまつな及び日本なし(各2検体)、キャベツ、きゅうり、なす及びぶどう(各1検体)、9月に搬入されたこまつな(8検体)、さつまいも(4検体)、なす(3検体)、じゃがいも(2検体)、かぼちゃ、きゅうり、さといも、だいこんの根、とうがん及びモロヘイヤ(各1検体)の計31検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、きゅうり、ぶどう各1検体、日本なし2検体及びこまつな3検体から計10種類13項目の農薬が検出されました。しかし、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

## 2 国内産農産物

9月に搬入されたすいか、トマト及びなす(各1検体)の計3検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、トマトからクロチアニジンが0.02ppm検出されましたが、残留農薬の基準値以下でした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

今回の検査で多く検出された農薬の概要については、3ページからの【農薬解説】を参考にしてください。

表1 残留農薬検査結果

(H27年8月～H27年9月)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
<b>市内産農産物</b>						
かぼちゃ	横浜市	1	0			
キャベツ	横浜市	1	0			
きゅうり	横浜市	2	1	クロチアニジン	0.02	2
こまつな	横浜市	10	1	アセタミプリド	0.03	5
				シアゾファミド	0.25	15
				テフルトリン	0.01	0.5
				フルフェノクスロン	0.01	10
				アゾキシストロビン	0.18	15
			1	シアゾファミド	0.01	15
			1	フルフェノクスロン	0.08	10
さつまいも	横浜市	4	0			
さといも	横浜市	1	0			
じゃがいも	横浜市	2	0			
だいこんの根	横浜市	1	0			
とうがん	横浜市	1	0			
なす	横浜市	4	0			
ぶどう	横浜市	1	1	クロルフェナピル	0.01	5
				ファモキサドン	0.04	2
				ペルメトリン	0.03	5.0
日本なし	横浜市	2	2	フェンプロパトリン	0.08、0.17	5
モロヘイヤ	横浜市	1	0			
<b>国内産農産物</b>						
すいか	長野県	1	0			
トマト	福島県	1	1	クロチアニジン	0.02	3
なす	群馬県	1	0			

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	A*1	B*1	C*1	D*1	農薬名	検出 限界 (ppm)	A	B	C	D
BHC ( $\alpha, \beta, \gamma$ 及び $\delta$ の和)	0.005	○*2	-*2	-	-	シフルトリン	0.01	-	○	○	○
DDT (DDE,DDD,DDT の和*3)	0.005	○	○	○	○	シフルフェナミド	0.01	○	○	-	○
EPN	0.01	○	○	○	○	シペルメトリン	0.01	-	○	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	○	○	ジメチリモール	0.01	-	-	○	○
アザメチホス	0.01	○	○	○	○	ジメトモルフ	0.01	○	○	○	-
アジンホスメチル	0.01	-	-	-	○	スルプロホス	0.01	○	○	○	○
アセタミプリド	0.01	○	○	○	○	ダイアジノン	0.01	○	○	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	○	ダイムロン	0.01	○	○	○	○
アニロホス	0.01	○	○	○	-	チアクロプリド	0.01	○	○	○	○
イプロバリカルブ	0.01	○	○	○	○	チアメトキサム	0.01	○	-	○	○
イプロベンホス	0.01	○	○	○	○	テトラクロルビンホス	0.01	○	○	○	○
イミダクロプリド	0.01	○	○	○	○	テトラジホン	0.01	○	○	○	-
インダノファン	0.01	○	○	○	-	テブチウロン	0.01	○	○	○	-
インドキサカルブ	0.01	○	○	○	○	テブフェノジド	0.01	○	○	○	○
エチオン	0.01	○	○	○	○	テフルトリン	0.01	○	○	○	○
エトプロホス	0.005	○	○	○	○	トラルコキシジム	0.01	○	○	○	○
エトリムホス	0.01	○	○	○	○	トリチコナゾール	0.01	○	○	○	-
エポキシコナゾール	0.01	-	-	○	-	トリフルムロン	0.01	○	○	○	○
エンドスルファン ( $\alpha$ 及び $\beta$ の和)	0.005	-	○	-	-	トルクロホスメチル	0.01	○	○	○	○
エンドリン	0.005	-	○	-	○	ノバルロン	0.01	-	○	○	○
オキサミル	0.01	○	○	○	○	パラチオン	0.01	○	○	○	○
オキシカルボキシシン	0.01	○	○	○	○	パラチオンメチル	0.01	○	○	○	○
オリザリン	0.01	-	○	○	○	ビフェントリン	0.01	○	○	○	○
カズサホス	0.01	○	○	○	○	ピラクロストロビン	0.01	○	-	-	-
カフェンストロール	0.01	○	○	○	○	ピラゾリネート	0.01	-	-	○	○
カルバリル	0.01	○	○	○	○	ピリフタリド	0.01	○	○	○	○
カルプロパミド	0.01	○	○	○	-	ピリミカーブ	0.01	○	○	○	○
クミルロン	0.01	○	○	○	○	ピリミホスメチル	0.01	○	○	○	○
クロキントセツト-メキシル	0.01	○	○	○	○	ファモキサドン	0.01	○	○	○	○
クロチアニジン	0.01	○	○	○	-	フェニトロチオン	0.01	○	○	○	○
クロマフェノジド	0.01	○	○	○	○	フェノキシカルブ	0.01	○	○	○	○
クロリダゾン	0.01	○	○	○	○	フェノブカルブ	0.01	○	○	○	○
クロルピリホス	0.01	○	○	○	○	フェリムゾン	0.01	○	-	-	-
クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	○	フェンアミドン	0.01	○	○	○	-
クロルフェナピル	0.01	○	○	○	○	フェンクロルホス	0.01	○	○	○	○
クロルフェンソン	0.01	○	○	○	○	フェンスルホチオン	0.01	○	○	○	○
クロルフェンビンホス	0.01	○	○	○	○	フェントエート	0.01	○	○	○	○
クロロクスロン	0.01	○	○	○	○	フェントラザミド	0.01	○	○	○	-
シアゾファミド	0.01	○	○	○	-	フェンバレレート	0.01	-	○	○	-
シアノフェンホス	0.01	○	○	○	○	フェンピロキシメート	0.01	-	○	○	○
シアノホス	0.01	○	○	○	○	フェンプロパトリン	0.01	-	○	○	○
ジウロン	0.01	○	○	○	-	ブタフェナシル	0.01	○	○	○	○
ジオキサベンゾホス	0.01	○	○	○	○	ブタミホス	0.01	○	○	○	○
ジクロフェンチオン	0.01	○	○	○	○	フラメトピル	0.01	○	○	○	-
ジコホール	0.01	○	○	○	○	フルシトリネート	0.01	-	○	○	-
シハロトリン	0.01	○	○	○	○	フルバリネート	0.01	-	○	○	○
ジフェノコナゾール	0.01	○	○	-	○	フルフェナセット	0.01	○	○	○	-

表2 農薬の検査項目及び検出限界(続き)

農薬名	検出 限界 (ppm)	A	B	C	D	農薬名	検出 限界 (ppm)	A	B	C	D
フルフェノクスロン	0.01	○	○	○	○	ボスカリド	0.01	○	○	-	○
フルリドン	0.01	○	○	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○	○	-
プロシミドン	0.01	○	○	○	○	マラチオン	0.01	○	○	○	○
プロチオホス	0.01	○	○	○	○	メタベンズチアズロン	0.01	○	○	○	○
プロピザミド	0.01	-	○	○	○	メキシフェノジド	0.01	○	○	○	○
ヘキサフルムロン	0.01	○	-	-	-	メビンホス	0.01	○	○	○	○
ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005	○	-	-	-	モノリニューロン	0.01	○	○	○	-
ペルメトリン	0.01	○	○	○	○	ラクトフェン	0.01	○	○	-	○
ペンシクロン	0.01	○	○	○	○	リニューロン	0.01	○	○	○	○
ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○	○	リンデン( $\gamma$ -BHC)	0.002	○	○	○	-
ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○	○	ルフエヌロン	0.01	-	○	○	○
ペントキサゾン	0.01	○	-	-	-						

\*1 A:かぼちゃ、こまつな、トマト、モロヘイヤ

B:キャベツ、きゅうり、だいこんの根、とうがん、なす

C:さつまいも、さといも、じゃがいも

D:すいか、日本なし、ぶどう

\*2 ○:実施、-:実施せず

\*3 DDTは $p,p'$ -DDE、 $p,p'$ -DDD、 $o,p'$ -DDT及び $p,p'$ -DDTの和

### 【農薬解説】

#### ○クロチアニジン

『ダントツ』などの商品名で販売されている殺虫剤です。広範囲の害虫に対して効果があり、従来の殺虫剤に耐性があるアブラムシ等に対しても効果があります。

#### ○シアゾファミド

『ランマン』などの商品名で販売されている殺菌剤です。特にべと病や根こぶ病などに対して効果があります。今年度実施した検査において、トマト(市内産)からも検出されました。

#### ○フェンプロパトリン

『ロディー』などの商品名で販売されている殺虫剤です。広範囲の害虫に対して効果があり、特にハダニ類に対して高い効果を示します。

#### ○フルフェノクスロン

『カスケード』などの商品名で販売されている殺虫剤で、広範囲の害虫に対して効果があります。今年度実施した検査において、トマト(市内産)からも検出されました。

### ※参考文献

・社団法人日本植物防疫協会、農薬ハンドブック2011年版